

アンケートで見る この町に住む人々の 本当の気持ち

今号では、この町は住み良いか？ずっと住み続けたいか？など、生活環境に関する回答についてご紹介します。

このアンケートから聞こえてくる「生の声」は、今後の町の方向を示す指標となります。

みなさんからのご意見・提言も含めて、アンケート結果をご覧ください。

あなたにとって、この町は住みよい町ですか？

「とても住み良い」 12・1%、「まあ住み良い」 54・7%、「どちらとも言えない」 20・2%、「あまり住みよくない」 10・0%、「住みにくい」 2.3%です。

「とても住み良い」と「まあ住み良い」をあわせると66・8%、「あまり住み良くない」と「住みにくい」をあわせると12・3%で、住み良いと思う人の割合が全体の7割近くを占めています。

年齢別に見ると「とても住み良い」は80歳以上に多く、「どちらとも言えない」は30歳代が多い結果となりました。

あなたは、この町に愛着を感じますか？

「とても愛着がある」 27・6%、「まあ、愛着がある」 49・1%、「どちらとも言えない」

15・4%、「あまり愛着がない」 4.8%、「愛着を感じない」 2.3%です。

「とても愛着がある」と「まあ愛着がある」をあわせると76・7%、「あまり愛着はない」と「愛着を感じない」では7.1%で、愛着を感じている人は全体の8割近くになります。

年齢別で見ると「とても愛着がある」は50歳代が最も多く、「あまり愛着を感じない」、「愛着を感じない」は30歳代が多くなっています。

これから、住み続けたい町ですか？

「ずっと住みたい」 39・9%、「まあ住んでいたい」 27・7%、「一度出てから帰ってきたい」 2.1%、「できれば出たい」 5.8%、「すぐにでも出たい」 1.3%となっています。

年齢別では、「ずっと住みたい」は60歳以上に多く、「まあ住んでいたい」は40～50歳代、「一度出て帰ってきたい」は10～20歳代が多く、若い世代ほど住み続けたい気持ちが薄いようです。

町を出たい理由としては「働く場所がない・勤務地が遠い」が一番多く、ついで、「買いたい物が不便」や「医療・福祉面に不安」、「老後の生活が不安」、「公共交通機関が不便」などが多く、また、10～30歳代の若い世代では、「都会に住んでみたい」などの理由も見受けられます。

今の生活、どんなところが「満足？」「不満？」

満足しているところは、「自然が豊かで潤いがある」 44・1%、「簡易水道が整備されている」 32・2%、「ゴミの収集体制が整っている」 28・9%、「住民健診や健康指導が充実している」 26・2%、「消防・救急体制が整備されている」 21・8%、「近隣とのつき合いが活発にある」 17・3%などが挙げられます。

反対に、不満度が最も高いは「衣料品などの買いたい物が不便」で、次いで「働く場所が少ない」、「日中過ごせる遊び場が少ない」、「娯楽の環境」、「食品や日用品の買いたい物」の順で不満度が高い傾向にあります。

日常生活に密接な事柄ほど不満度が高く、「町を出たい理由」にも通じる傾向です。

